

2019年度

# 伊野地区自治協会 活動の重点

## 1,000人でつくる持続可能な伊野ビジョン作成

- 10年後、持続可能な伊野をめざすビジョンと戦略プラン(取組計画)を作成する。
- そのため、「伊野の未来創造戦略会議」を立ち上げ、ビジョン作成に取り組む。
- 実効性あるビジョンにするため、まちづくりフォーラムや各種団体・町内等で議論する。

## 縮む地域社会に見合った組織や活動の検討

「伊野暮らしの負担軽減検討委員会」や各種団体・町内会で次のことについて検討する

- 文化祭等、地域行事の見直し
- 地域を支える組織の見直し(自治協会、各種団体、町内会)
- 活動を支える財政の見直し(自治協会、各種団体、町内会)

## I Uターン促進、関係人口・交流人口拡大

一人が行き交う町、人が住み着く町、選ばれる町

- 空き家活用の具体策検討
- 伊野暮らし体験(イベント参加、登山、ピクニック、民泊等)
- 情報発信体制の強化
- 伊野いち、国際ワークキャンプ、トレイルラン等の発展
- ふるさと会員の拡大と交流

## 他地域や行政との連携によるまちづくり

- 一畑電鉄との連携 (ちょんぼし伊野いち出店)
- 平田商工会議所との連携(平田人生ゲームで伊野アンテナショップ開催等)
- 平田地域・湖北地域との情報交換・連携
- 県・市との連携

## 子育ては伊野で

— 20～30代女性にとって魅力あるまちづくり —

- 児童館の子ども預かり延長について検討
- 伊野小魅力化(地域×学校×関係人口)の発展
- 20代～30代女性のまちづくり参画促進
- 未就学児童・保護者の交流の場をつくる
- 伊野ベーシックの発展

## 伊野の資源を活用した取組

- 杜氏OB、アスリート等人的資源を活用した事業
- 伝統食や芸能等、文化的資源を活用した事業
- 山・海・湖など自然を活用した事業

## 安全・安心の伊野

- 原子力災害時の避難道路(斐川・一畑・大社線及び伊野本線)の整備事業推進。大社・荒木地区との交流。
- 避難行動要支援者等災害弱者の支援計画作成
- 地区災害対策本部及び各町内の災害対応力強化
- 土砂災害対応の避難訓練について検討・実施